

農業分野事例紹介

File No,

AG-0003

農作物	お米	使用方法	土壌灌水	葉面散布
品種	コシヒカリ	1回の使用量	150ml / 反	—
作付面積	2反 (約2,000m ²)	希釈倍率	適量	—
栽培方法	水田栽培	希釈水量	適量	—
栽培期間	5月～9月	使用回数	本田で3回、育苗で2回	
適用製品	大地の友	使用頻度	適時	—

課題や目的など お米の健全育成と商品価値の向上、早期収穫を目的とする

散布計画、
使用方法、等

1) 田植え前の圃場に製品を水に溶かして1回供給する、2) 育苗の時に7日間隔で2回スプレーする (3,000倍希釈にて)、3) 移植後から2カ月の間に製品を水に溶かして2回供給する

現場写真・データ



本田全景 (田植え前)



育苗の様



本田全景 (生長期)



比較対照

製品使用



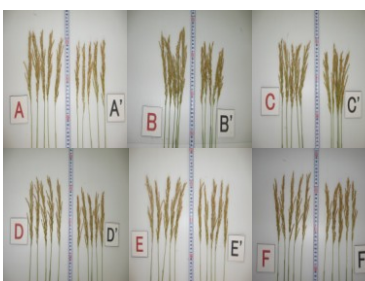
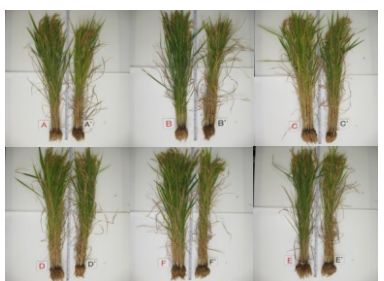
比較対照

製品使用



製品使

比較対照



※各6株による比較において、穂長で平均13%増、一穂粒数で平均20%増、玄米千粒重で平均6.5%増のデータが確認された

使用者の声

1反 (10a) あたりの総収量は、比較対象の畑では7.5俵 (450kg) であったのに対し、大地の友を使用した畑では9.75俵 (585kg) であり、30%の増量が確認できた。これは、生長促進により、一穂粒数が多いこと。つまり、米粒に成り切れない「くず米 (商品にならない米粒)」が少なかったことによるものだと思います。今年は田植えの時期が遅くなってしまったが、早期収穫ができたので大変良かった。